

赤野井湾再生シンポジウムの開催について

～赤野井湾の昔と今、そしてこれから～

1 開催趣旨

守山市に位置する赤野井湾は、昭和 20 年代までは水が透き通り、魚やシジミが多く獲れていました。

しかしながら、周辺の開発が進む中で、河川の汚れやアオコの発生など様々な問題が生じ、近年ではオオバナミズキンバイの繁茂や河川ごみの流入による湖底ごみの問題など新たな課題を抱えています。

このような環境問題を受け、平成 18 年度には「湖沼水質保全特別措置法」に基づく「赤野井湾流域流出水対策推進計画」の策定や、平成 24 年には赤野井湾再生プロジェクトの発足など、赤野井湾の再生を願う多くの人々の取組みによって、最近では少しずつ環境改善が見られてきました。

そこで、多くの地元市民や県民の皆様と一緒に、赤野井湾の現状を踏まえたこれまでの環境改善への活動や水産資源の復活への取組みを再認識し、これからの赤野井湾の未来について考えることを目的に、守山市と共に本シンポジウムを開催いたします。

- 2 主催 守山市、滋賀県
- 3 日時 令和 4 (2022) 年 3 月 19 日 (土) 午前 10 時から午後 0 時 30 分まで
(受付：午前 9 時 30 分から)
- 4 場所 守山市民ホール小ホール
- 5 対象 守山市民
- 6 内容 基調講演、パネルディスカッション
- 開会挨拶
 - 基調講演「瀬田川洗堰操作による水位管理」
講師：近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所長 矢野 公久 氏 やの ともひさ
 - 講演「赤野井湾再生プロジェクトの活動について」
講師：玉津・小津漁業協同組合 組合長 田中 善秋 氏 たなか よしあき
 - 講演「琵琶湖の縮図・赤野井湾再生に向けた県の取組み」
講師：滋賀県琵琶湖環境部 技監 三和 伸彦 みわ のぶひこ
 - 講演「赤野井湾の漁場再生に向けたあゆみ」
講師：滋賀県農政水産部水産課 参事 酒井 明久 さかい あきひさ
 - パネルディスカッション
テーマ：「赤野井湾の環境と水産業について」
パネラー：守山市長 宮本 和宏 氏 みやもと かずひろ
玉津・小津漁業協同組合 組合長 田中 善秋 氏 たなか よしあき
滋賀県琵琶湖環境部 部長 石河 康久 いしかわ やすひさ
滋賀県農政水産部 部長 西川 忠雄 にしかわ ただお
 - 閉会挨拶

7 新型コロナウイルス感染症対策

- ・検温、手指の消毒、マスクの着用、換気などの感染症対策の徹底
- ・感染状況により内容の変更の可能性があります